



池島魂



教育目標 「愛顔でより良い未来に向かって努力する子供の育成」

文責：校長

9/1 平和祈念集会



「^{とな}平和を唱えるだけでなく
^{みちか}平和を身近につくいだす人に」

9月1日、池島小中学校で「平和祈念集会」を行いました。この集会に向けて、3名の児童生徒は、平和キャンドルづくり等を通して、平和についての学習を進めてきました。この集会の中で、その学習発表の他、平和キャンドルの点火や池島小中学校平和宣言、黙とうを行うことで、平和を希求する気持ちを高めるとともに、家族や学校、地域等身近なところで、具体的に平和を自分たちで作りだしていくとはどんなことかを考えました。



「自分からあいさつや返事をする」、
「時間を守る」 「だれとでも笑顔で接する」、
「自分がされて嫌なことはしない、言われて嫌なことは言わない」
「自分だけでなくみんなのこと、相手の立場のことを考えて言動する」
「誰かがやるだろうではなく、その誰かに自分になる」など、

まずは、家族のために、学校のために、池島のために「私たちには何ができるのか」を一人一人が考え、そして実行していく・・・

校長講話でも、「青空と夢があふれるこの街でつないでいこう未来の愛顔」（池島中学生徒作）と「6・23 8・6 8・9 8・15 5・3につなげ我ら^{いま}現在生く」の短歌、「長岡の花火」の絵画とそれに関係する「みんなが爆弾なんかつくらないで、きれいな花火ばかり作っていたら、きっと戦争なんかおこらないんだな」という日本のゴッホともいわれる画家、山下清さんの言葉などを通して、

「平和を唱えるだけでなく

平和を身近につくりだせる人になる」

ことを考えています。一人一人の積極的な実践を願っています。

「池島小中学校 平和宣言」

1945年8月9日。今から78年前、長崎に一つの原子爆弾が投下されました。多くの人々の大切な命や平和な日常が一瞬で奪われました。この悲しみや苦しみを二度とくり返さないために、日本は、これまで平和を守り続けてきました。

しかし、世界に目を向けるとどうでしょう。今、私たちが生活している地球上で戦争や紛争、テロが起き、多くの人々の命が奪われています。私たちと同じ子どもたちが、学校で勉強したり、友だちと話したり、ご飯をおなかいっぱい食べたり、おうちの人と一緒に暮らしたりできず悲しい思いをしています。当たり前にあった平和な日常をすべて奪われ傷ついているのです。

お互いに争い、傷つけあうことで何が残るのでしょうか。誰が幸せになれるのでしょうか。みんなが笑顔で幸せであるために、次の4つの平和宣言を発表します。



一.平和とは、楽しくなること

→それは、毎日、苦しむことなく**幸せに楽しく生きること**だから

一.平和とは、明るいもの

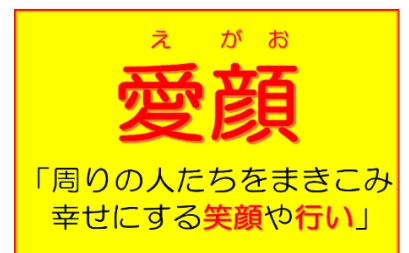
→それは、平和はいたい思いもせず*に*いられる、**明るいもの**だから

一.平和とは、この世の人たちみんなに幸せをもたらすこと

→それは、**自分たちだけが幸せであっても、周りの人たちも幸せでなければ「平和」とは言えない**から。

一. 平和とは、寝て、食べて、笑って生きること

→それは、**当たり前**に過ごしている**日常生活が**
当たり前のことではないと学び、寝て、食べて、
笑って生きることが**できる今**を大切に生きていきたいから



私たち池島小中学校には、「**愛顔**」という目標があります。
「**愛顔**」とは、「**周りの人たちをまきこみ幸せにする笑顔や行い**」
のことです。この4つの平和宣言を多くの人に発信しながら、
私たちの愛顔で私たちの平和な世界をつくりあげていくことを
ここに誓います。

令和5年9月1日 池島小中学校 児童生徒

